

(1) 大阪工業大学梅田キャンパスOIT梅田タワー ~地域に開かれた都市型キャンパスタワー~

- ・所在地：大阪市北区茶屋町1番45号（阪急梅田駅徒歩3分）
- ・設立：2017年4月開校（'14年3月着工/'16年10月竣工）
- ・階数：地上21階、地下2階（高さ≒125m）
- ・面積：敷地：約4,650㎡・延床：31,289.88㎡
- ・機能：1階～4階：地域開放型にぎわいエリア（ホール、レストランなど）
 6階～9階：イノベーションエリア
 10階～20階：ロボティクス&デザイン工学部の学びの拠点
- ・参考：
 - ・2017年度の志願者数は前年度の1.5倍に増加。新学部創設で定員が増えたため、単純比較はできないが、梅田キャンパスの効果が大きいとみられている。
 - ・産学連携型クラブ活動「RDクラブ」を設置（大商と密に連携。2019年度は9社の企業が参画）

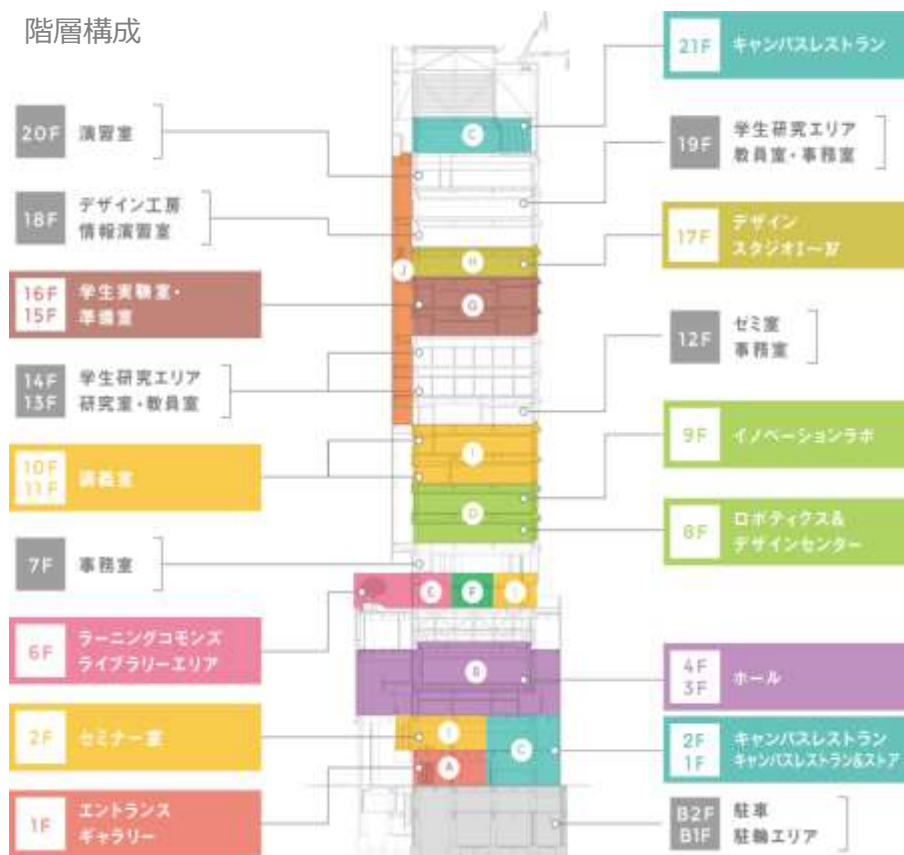


15・16F学生実習室 コミュニケーションネット

写真の出展：大阪工業大学HP



階層構成



図の出展：大阪工業大学HP

(2) 教育文化センター跡地活用事業(横浜市) ~市民の知の交流拠点「オープンナレッジポート」の創設~

【以下は事業予定者決定に関する横浜市発表の内容です】

- ・所在地：横浜市中区万代町1-1-11ほか（JR関内駅前）
- ・事業者：学校法人 関東学院
- ・開校：2022年4月予定（'14年3月着工/'16年10月竣工）
- ・階数：地上17階、地下2階（高さ74.9m）
- ・面積：敷地：約2,647㎡・延床：25,221㎡
- ・機能：B1階～1階：ブックカフェ、スポーツ施設等
 2階～3階：ホール、ギャラリー
 4階：マッチングオフィス、コワーク
 5階：デジタル図書館
 06階～17階：大学
 ※B1階～5階は一般利用可能(6階以上も一部利用可能)
- ・売却価格：23億8740万4090円

事業コンセプト概要：

- ① 大学、企業、市民、起業家等、国内外の多様な主体が集うインキュベーション拠点
 ⇒イノベーションを誘発するために、大学の多様な機能が提供される。
 ⇒大学がラウンドテーブルの機能を果たしながら、大学・企業・市民・起業家等の国内外の様々な主体が集い、交流するためのプラットフォームが形成されることにより、関内・関外地区に新たなインキュベーション拠点が創出される。
- ② 様々な分野での産学連携、2,500名を超える学生の学ぶキャンパス
 ⇒当該大学では様々な分野における国際的な教育・研究のリソースを有しており、企業ニーズとマッチングさせるためのマッチングオフィスを設置するなど、関内・関外地区で研究・教育分野での多様な産学連携を実現する。
 ⇒留学生や海外研究者と交流できるスペースも設置される。
 ⇒2,500名を超える学生が学ぶキャンパスが開校され、学生による周辺地域の回遊や地域が実施する事業への参画等により、新たな賑わいが形成される。
- ③ 市民に開放された「知の交流」のための多様なスペース
 ⇒企業や市民が活動可能なコワーキングスペース、多数の蔵書にアクセスできるデジタル図書室、サンクンガーデンに設置されるブックカフェ、ホール・ギャラリー等、市民の知的・文化的活動を支援するための多様なスペースが用意される。
 ⇒生涯学習講座などを積極的に開講し、市民の知的活動を支援するとともに、スポーツ施設も設置し、市民の健康増進にも貢献する。

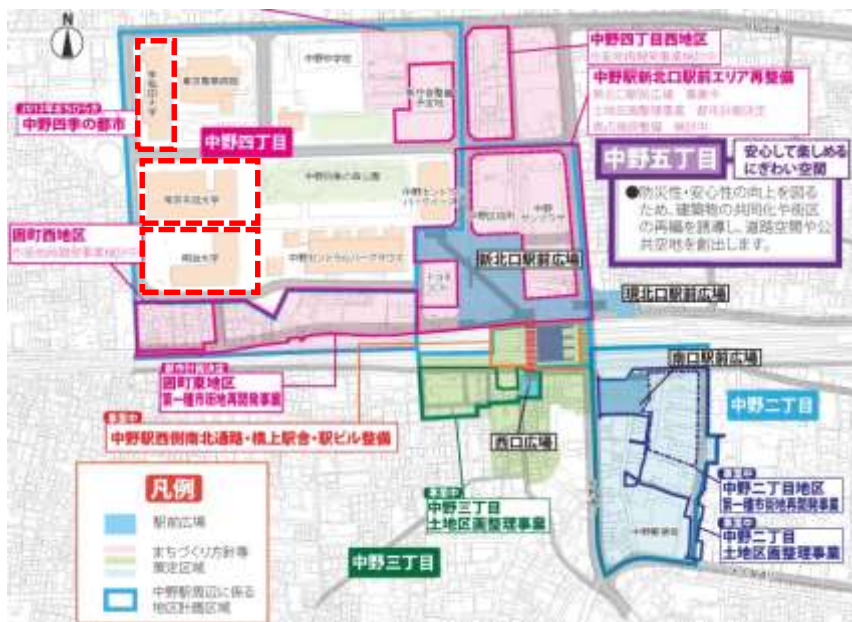


図の展出：横浜市HP

(3) 中野四季の都市 (まち)

～公有低未利用地における3つの大学誘致～

- 概要:
 - 警察大学校跡地等 (約16.8ha) において、大学、オフィス、病院、公園等の多様な都市機能を整備
 - 企業で働く人や学生の増加、公園の利用者の増加等により、中野駅周辺を訪れる人は、開発前と比べて約2万人増加 (2019年10月資料より)
- 所在地: 東京都中野区・中野四丁目地区 (JR中野駅北西)
- 機能:
 - 大学① (早稲田大学 中野国際コミュニティプラザ)
 - 大学② (明治大学 中野キャンパス)
 - 大学③ (帝京平成大学 中野キャンパス)
 - 大規模オフィス、商業、住宅、病院
 - 公園 (中野四季の森公園≒1.5ha)



図の出席: 中野区HP

名称等	概要
■ 早稲田大学中野国際コミュニティプラザ (敷地面積: 7,710㎡) (学生寮: 約900名)	<ul style="list-style-type: none"> 日本人学生と留学生が混在する『学生寮』 地域に生涯学習の場づくりを提供する『教育施設』 ※地域開放講座を開講
■ 明治大学キャンパス (敷地面積: 16,144㎡) (開学時学生数見込: 2,500人)	[学部]国際日本学部、総合数理学部 [大学院]国際日本学研究科、先端数理、科学研究科等 ※地域連携講座を開講
■ 帝京平成大学キャンパス (敷地面積: 16,018㎡) (開学時学生数見込: 5,500人)	[学部]薬学部、現代ライフ学部、ヒューマンケア学部 [大学院]薬学研究科、環境情報学研究科 ※中野区民講座を開講
■ その他 (業務、公園、病院)	<ul style="list-style-type: none"> 業務 (400席のホールも確保) 公園: 防災公園 病院: 415床 (災害拠点病院)

早稲田大学国際コミュニティプラザ

【施設概要】

- 用途: 寄宿舎、大学店舗
- 延床: 30,332.21㎡
- ※早稲田大学全体では約8,000人の留学生が存在

【学生寮】

- 日本人学生と留学生とが混在する約900名規模
- 2階には独自の寮プログラムが実施される多目的教室、音楽室やフィットネスルーム、学生ラウンジ、大浴室など、寮生同士が交流を図ることのできる場が確保されている

【教育施設】

- 大学の教育研究機能を生かし地域社会に開かれた生涯学習の場を確保



写真・図の出席: 早稲田大学HP

(4) コーネル・テック (ニューヨーク市) ~ニューヨーク版シリコン・バレーの拠点形成~

- 概要:
 - 新産業創造及び学術機関の成長促進策の一環として大学誘致を推進した事例
 - シリコンバレーを追い抜くことを目標とし、世界の大学の提案コンペによる競争入札を実施。
⇒コーネル大学が優先権を獲得。
- 所在地: ニューヨーク ルーズベルト島
- 開校: 2017年8月 (全体が完成するのは2034年の予定)
- 面積: 敷地: 約 5 ha (総工費20億ドルを想定)
- 施設:
 - ブルームバーグセンター (主に教室)
 - タタイムーションセンター (産学共同研究拠点)
 - ザ・ハウス (住居用の建物)
 - ホテル、教育センター (建設中)
- 売却価格: 23億8740万4090円



図・写真の出展: コーネルテックHP

(5) 柏の葉アーバンデザインセンター (千葉県柏市) ~大学が核となり街の成長・課題解決を牽引~

- 概要:
 - 2006年11月、公民学連携型まちづくりの拠点として柏の葉キャンパス駅西口前に開設し、計画段階からまちづくりを牽引
 - 2010年09月、柏の葉キャンパス駅東口駅前に移転2014年04月、柏の葉キャンパス駅西口「東京大学柏の葉キャンパス駅前サテライトの1階」に移転を通じて、スマートシティ化など当初の構想の実現・課題解決の取組みを推進している。

公共 × 民間 × 大学






柏市
千葉県
柏市まちづくり公社

柏商工会議所
田中地域ふるさと協議会
三井不動産
首都圏新都市鉄道

東京大学
千葉大学



開設から5年間の歩み (初動期のまちの牽引実績)

年度	2006	2007	2008	2009	2010	2011	
UDC	4月:「大学と地域の連携交流会」にて東京大学北沢教授がUDCK設置発言 10月:組織の枠組み決定 11月:UDCKオープン	 初代 UDCK	 UDCKo	 UDCKo	8月:初代施設閉鎖 9月:UDCK 現位置に移転	 2代目 UDCK	11月:UDCK5周年
地域構想計画・推進	国際キャンパス構想基礎調査	国際キャンパス構想策定調査	3月:国際キャンパス構想策定 2008年度:7部会での検討 ①田園都市部会 ②環境建築部会 ③地域教育部会 ④自転車部会 ⑤地域大学連携部会 ⑥空間デザイン部会1 ⑦空間デザイン部会2	2009年度:10部会での検討 ①地域教育(小学校)部会 ②環境都市部会 ③ITS部会 ④自転車部会 ⑤エリアマネジメント部会 ⑥田園都市部会 ⑦PLS 展開部会 ⑧空間デザイン部会 ⑨地域大学連携部会 ⑩地域 ICT 部会	2010年度:6部会での検討 ①地域教育部会 ②田園都市部会 ③モビリティ部会 ④空間デザイン部会 ⑤エリアマネジメント部会 ⑥UDCK 将来部会	2011年度:7部会での検討 ①地域教育部会 ②田園都市部会 ③モビリティ部会 ④空間デザイン部会 ⑤エリアマネジメント部会 ⑥国際教育部会 ⑦UDCK 将来部会	
研究提案	都市環境デザインスタジオ 2006後期課題:柏の葉を拓く130の提案	2007前期課題:新しい公共空間を構想する 2007後期課題:新しい田園都市を構想する	2008前期課題:新しい田園都市をデザインする 2008後期課題:新しい田園都市をデザインする	2009前期課題:新しい田園都市をデザインする 2009後期課題:新しい田園都市をデザインする	2010前期課題:都市環境の再構築:地域とともに考えるまちのリノベーション	2011前期課題:成長から成熟へのシナリオと郊外都市デザイン 2011後期課題:都市環境の再構築:地域とともに考えるまちのリノベーション	
	 環境空間計画の基礎研究 柏の葉まちづくり研究会 7月、12月 千葉大学・東京電機大学演習カレッジリンクシニア住宅 6月:予防医学プロジェクト	建築環境デザインスタジオ アーバンデザインセンター研究 9月:第1回UDC会議 柏・流山地域国際学術都市づくり展 2月:UDCK教育フォーラム「国際キャンパスタウン構想の実現に向けて」	9月:第1回UDC会議「まちづくりの場を考える」 柏の葉コミュニティグリッド研究 3月:柏の葉コミュニティフォーラム「持続可能な地域運営の仕組みを考える」 未来の住まいフォーラム 7月、2月 モバイル空間統計研究	11月:第2回UDC会議	9月:防災シンポジウム「柏の葉の都市防災とこれからのまちづくりを考える」		

(6) 柏の葉スマートシティ (千葉県柏市) ~公民学連携のオープンな解決のステージづくり~

- ・所在地：柏の葉キャンパス駅周辺エリア (千葉県柏市)
- ・目的：環境共生都市、新産業創造都市、健康長寿都市の3つのテーマに関し、その最適解を求め「世界の未来像」を具現化していくことを目的としている



『新産業創造都市』の取組み

- ・KOIL
 (柏の葉オープンイノベーションラボ)
- ・TXアントレプレナーポータルズ
 (大学、研究機関、行政、民間企業、個人の専門家が連携する日本有数のベンチャー支援組織)
- ・東京大学柏の葉キャンパス駅前サテライト (東大の研究資産と企業を結びつけ、新しい事業や研究領域の開拓を進める施設)
- ・環境問題、エネルギー問題、予防医学・健康を研究する研究施設
- ・アジアの若い起業家が一堂に会する、日本発の国際的なビジネスコンテスト



『環境共生都市』の取組み

- ・AEMS
 (エリアエネルギー管理システム)
- ・スマートグリッド
 (分散電源エネルギーを街区間で相互に融通)
- ・災害時エネルギーシステム
 (災害時に効果的にエリアエネルギー管理)
- ・HEMS
 (ホームエネルギー管理システム)
- ・CO2削減のロードマップ 策定
- ・サステナブルデザイン
- ・再生可能エネルギーの活用
- ・千葉大学発「植物工場」



『健康長寿都市』の取組み

- ・街のすこやかステーション
 (予防医療施設、無料の健康増進サービス、健康サポートを提供)
- ・柏の葉スマートヘルスプロジェクト
 (デジタル健康機器と健康データ分析システムの連携⇒PCやスマホで各自の健康状態が見える化)
- ・健康増進プログラム
 (オリジナルの健康増進体操)
- ・柏の葉エリア限定求人サイト
 (生き活きと暮らせるサービス)
- ・学術機関や多彩な市民活動を通じて、超高齢化社会に対応したまちづくりを推進



リストバンド型ライフレコーダー (健康分析システムに連携)
 柏の葉キャンパスシティオリジナルの「はっぽっば体操」

(補足) 国土交通省スマートシティモデル事業 (2019年5月、柏の葉が先行モデルプロジェクト15事業の一つに選定された)

柏の葉スマートシティコンソーシアム

【地方公共団体: 柏市 民間事業者等代表: 三井不動産株式会社】

- 大学、病院等の施設が駅から2km圏に分散立地しており、区画整理事業の進行に伴う土地利用の更なる促進に向け、施設間のつながり強化、新産業の集積促進、環境負荷の低減、将来も健康に暮らせる居住環境形成が課題。
- 「エネルギー」、「モビリティ」、「パブリックスペース」、「ウェルネス」をキーワードに、データプラットフォームと公・民・学連携のまちづくり体制とを活かし、高密複合空間における環境負荷を抑えたスマートなコンパクトシティライフの具現化を図る。

◆対象区域



◆新技術・データを活用した都市・地域の課題解決の取組

AEMSの進化	拠点施設間のアクセス	公共空間の整備・管理	健康支援
<ul style="list-style-type: none"> ・域内施設のエネルギー関連データプラットフォーム構築 ・データ活用予測による電力融通効率化 	<ul style="list-style-type: none"> ・自動運転による事業用自動車(緑ナンバー)の実証運行 ・駅周辺交通の可視化・モニタリング 	<ul style="list-style-type: none"> ・人流解析・環境センシングに基づく開発計画、空間デザイン ・AI解析による道路等の予防保全型維持管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康拠点でのデータ収集、健康サービス提供 ・医療機関における人流データを活用した患者の待ち時間軽減
<p><エネルギー></p>	<p><モビリティ></p>	<p><パブリックスペース></p>	<p><ウェルネス></p>

◆事業実施体制

柏の葉スマートシティコンソーシアム

幹事機関・事務局: U D C K / 三井不動産/柏市

データプラットフォーム構築・運営 協力機関
 民間型: 朝日製作所/日本ユニシス/凸版印刷
 公共型: 柏市/日本電気

モデル事業分野別実施体制

エネルギー: 朝日製作所/三井不動産
 モビリティ: 柏IT推進協議会/東京大学モビリティイノベーション連携研究機構/パシフィックコンサルタンツ/首都圏新都市鉄道/朝日大/朝日交通/ポート500
 パブリックスペース: (一社)UDCKタウンマネジメント/産業技術総合研究所/国土交通省/道路データサービス/川崎製鉄/朝日建設
 ウェルネス: 柏市/国立がん研究センター東病院/三井不動産/産業技術総合研究所

先端ソリューションを持つベンチャー企業 (新規参入含む)

データプラットフォーム

- ・情報銀行等の仕組みを活用した分散型データベースを構築(民間型プラットフォーム)
- ・FIWARE等を活用したオープンデータ化の促進(公共型プラットフォーム)
- ・二つのプラットフォームの連携、分野を横断するデータ活用等により新たなサービスを創出

<p>民間型プラットフォーム</p> <p>個人情報に紐づき、情報銀行等の仕組み活用検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報提供者が相手や対象情報範囲を選択でき、個人情報が守られる仕組み。 ・既存DBを連携できる。安価でセキュアな分散型DB。 ・安全な情報取引と対価をばらばらに試行し、テナブルなPFを検討。 	<p>公共型プラットフォーム</p> <p>オープンソースの都市OSのFIWARE等活用検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人情報を含まない、むしろ匿名加工情報DB。 ・データ標準により、市民の利便性向上に向けた進化に寄与。 ・国際標準(Creative Commons)に準じた知財保護の一部担用化(オープン化)
--	--

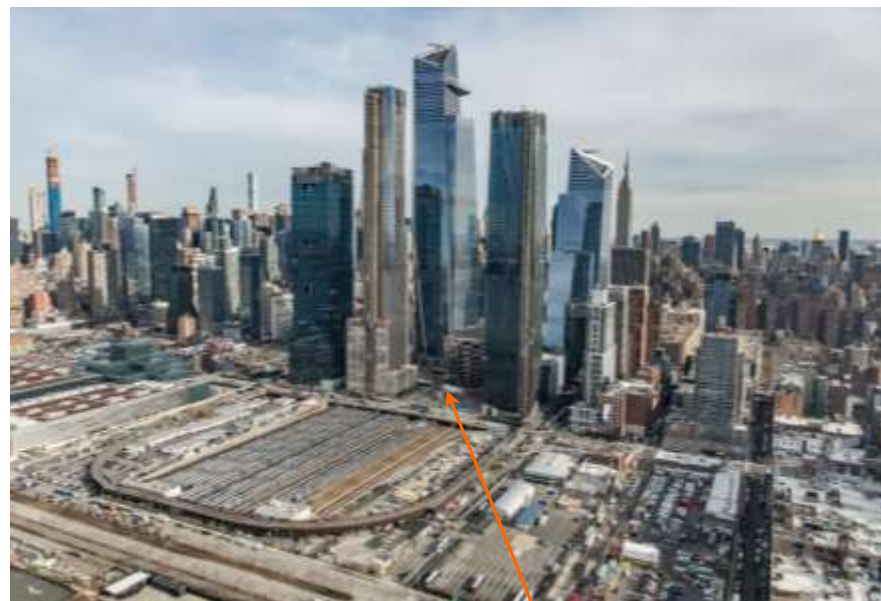
◆2019年度の主な取組

- ・柏の葉キャンパス駅～東大柏キャンパス間のシャトルバス(事業用自動車)の一部で自動運転を導入
- ・小型路面下探査装置の開発及びAI解析の実証実験

(7) ハドソンヤード (ニューヨーク市)

～操車場上部を活用した立体的な大規模再開発～

- ・概要 :
 - ・ニューヨーク州交通局 (MTA) が保有する操車場の上部に人工地盤を設け、民間事業者がその上部を開発している立体的な大規模再開発
 - ・操車場の上部は MTAが保有しており、その空中権を民間に 99年間のリースで貸し付けている。
 - ・ハドソンヤード特別目的地区内では、容積の売買が可能 (ゾーニングにより定められた容積まで)
 - ・労働者・住民・訪問者等の人の流れ、大気の状態、電力需要、気温等をビッグデータ化し、AIを用いて最適化を図る
- ・所在地 : ニューヨーク マンハッタン ミッドウエスト
- ・面積 : 敷地 : 約11ha
- ・施設 : 5棟の超高層オフィス、100を超えるショップ・レストラン、約4000戸の住宅、ユニークな文化施設、約6haにおよぶ公共のオープンスペース、公立学校、高級ホテルが計画されている。



図・写真の出展 : ハドソンヤード (プレスキット)

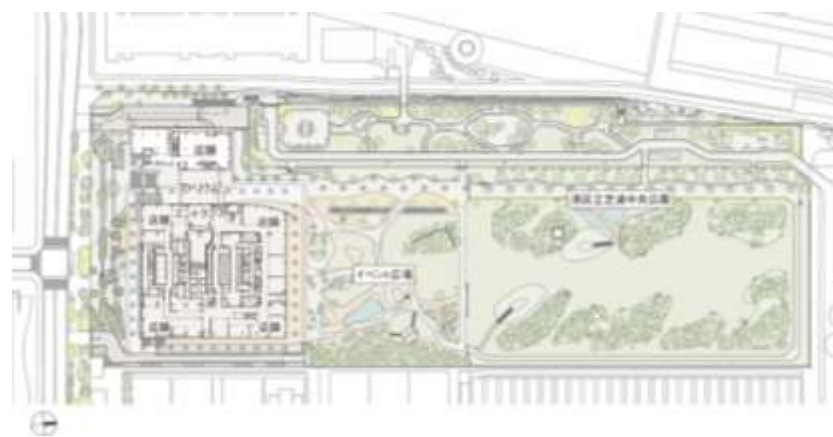
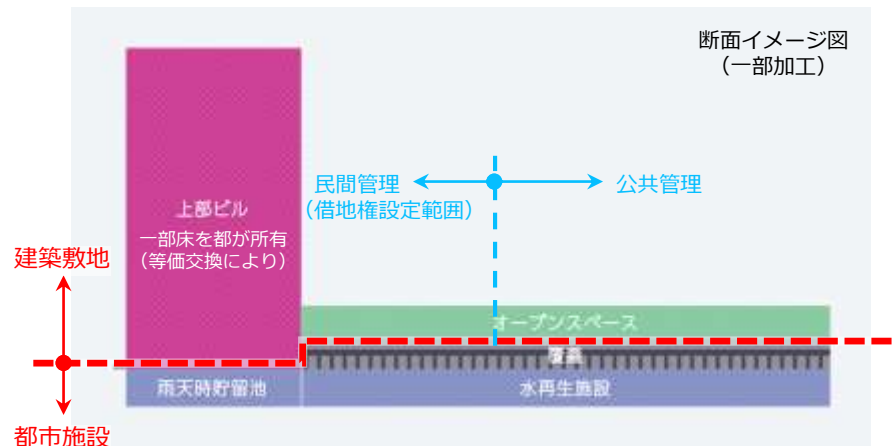
(8) 品川シーズンテラス

～下水道施設の上部を有効活用し民間開発を誘導～

- ・概要：
 - ・老朽化した芝浦水再生センター（下水道施設）のリニューアルとその広大な上部空間を有効利用した事業
 - ・立体都市計画制度を活用し、上部空間を下水道施設以外（＝都市計画施設以外）の用途として活用可能にし、業務・商業ビル+公園・広場を実現
 - ・定期借地権（30年）を設定し、開発事業者に賃貸することにより公的負担を縮減
 - ・自然エネルギーや下水熱を活用した環境モデルビル
 - ・品川シーズンテラスエリアマネジメントを組成し、水処理センター上部の広大な公園・広場を有効活用
- ・所在地：東京都港区港南1-2-70（JR・京浜急行品川駅 徒歩6分）
- ・事業者：東京都(下水道局) + 民間事業者4社

(以下建物概要)

- ・竣工：2015年2月（工期2012年2月～2015年2月）
- ・階数：地下1階 地上32階
- ・構造：地下：RC（免震構造） / 地上：S（柱CFT造）
- ・面積：敷地≒49,547㎡ / 建築≒9,128㎡ / 延床≒206,025㎡
- ・機能：事務所、飲食店、物販店、集会場、診療所、駐車場、下水処理施設、緑地（約3.5ha）



図・写真の出版：NTT都市開発HP